



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2020年3月4日
イオン株式会社
イオン北海道株式会社

～お買物を通じて、岩手・宮城・福島県の子どもたちを支援～
3/9(月)～11(水)、東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」実施

2011年3月に東日本大震災が発生してからまもなく9年となります。

イオン北海道株式会社は本年も3月9日(月)～11日(水)、道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など124店舗において、東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。

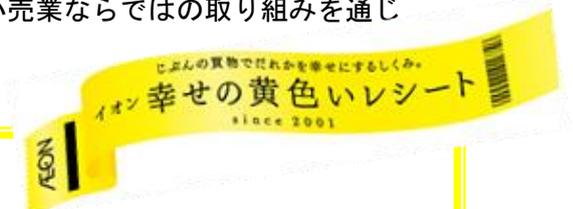
「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、2001年より、毎月11日の「イオン・デー」に実施している活動です。お客さまにお渡しする“黄色いレシート”を、応援したいと思うボランティア団体の名称と活動内容が書かれた店舗設置の箱に投函いただくと、レシート合計金額の1%相当の品物をイオンから各団体に贈呈する※というものです。

2012年からは、東北復興支援活動の一環として、3月のキャンペーン期間を3日間に拡大し、同期間に投函いただいたレシート合計金額の1%を、被災した子どもたちの「暮らし」と「学び」を応援する岩手・宮城・福島3県の育英基金に寄付しています。本キャンペーン等を通じて被災地に贈られた寄付金額は、累計約10億1,381万円にのぼります。



(写真は2018年の様子)

イオンは全国の皆さまと手をたずさえ、暮らしに身近な小売業ならではの取り組みを通じて、東北の創生に向けてともに歩んでまいります。



■東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

期 間：2020年3月9日(月)～11日(水)

実施店舗：道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など計124店舗

※全国のグループ約2,100店舗で実施

寄付先：岩手県「いわての学び希望基金」

宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」

※3月は復興支援のボックスのみの設置になります。そのため、地域のボランティア活動を応援する

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、次回4月10日(金)、11日(土)の2日間実施します。

※2001年から実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」では、2018年度までに、イオングループ全体で、のべ約31万9,700団体へ、総額約37億5,375万円相当の品物を贈呈しています。

【本件についてのお問合せ先】

イオン北海道(株)経営管理統括部 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

ご参考

東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」と合わせて行う寄付について

■「東北復興支援WAON」

岩手・宮城・福島3県の被災した子どもたちの「くらし」と「学び」を応援する育英基金に寄付する電子マネーカード「東北復興支援WAON」を2012年5月に発行。ご利用金額に対する一定割合をイオンが拠出し、寄付しています。2018年度(2019年2月末)までのご利用分による累計寄付額は3,535万9,280円(岩手県1,086万6,515円、宮城県1,205万2,765円、福島県1,244万円)となっています。



■「語り部の会」

イオン北海道株式会社では、2014年から、東日本大震災で被災された方の体験談を伺う「語り部の会」を開催し、これまでに2,000名以上の従業員や一般の皆さまが参加しています。「語り部の会」は、東日本大震災の被災者から実際に体験談を伺い、私たち従業員ができることを考え実行するきっかけとすることを主たるねらいとし、また、今後も長期的な支援を必要とする被災地の現状を知り震災の風化を防ぐこと、自分たちにも起こりうる自然災害に備え今からできることを考えるなど、防災意識を高めるきっかけとすることも兼ねております。

2019年11月に実施した語り部の会では、梨や新米、クリームチーズの味噌漬など、福島県・南相馬市の物産販売会もあわせて実施しました。



㊤2019年11月に実施した「語り部の会」

㊦福島県・南相馬市の物産販売会